



Mailform Pro 4.1.5 Reference



更新履歴

- 2014-04-28

メールフォームプロ4.1.5 公開

特定サーバで発生するMSI限定の謎のエラーを解決したバージョンを公開しました。IEとかこの世から無くなればいいのに！
- 2014-04-25

メールフォームプロ4.1.4 公開

MSIEでbeforeunload時に発生するバグを修正しました。
- 2014-04-10

メールフォームプロ4.1.3 公開

細部の調整、郵便番号辞書の更新、phase.jsを調整、SMTP Authへの対応、メールアドレス確認機能、一度きりの送信機能、アンケート集計機能、Gmail SMTP機能、レジューム無効化、初期値を無効化、サイズ調整の無効化などの機能を実装。
- 2013-10-05

メールフォームプロ 4.1.2 公開

未入力フィールドをメールに表示、サンクスページへパラメータの引き継ぎ、送信無効フラグの追加、自由整形機能の強化、sendmailオプションの変更、自動フリガナの改修、メールの各項目の表示調整機能、メールに記載するカートの商品表示の調整機能、カートに入れる挙動をjsonで、単位や敬称などをつけることができるなどの変更。開封通知機能追加。
- 2013-03-19

古いバージョンのiOS Safari (4.x) での不具合を修正しました。

症状がでるのは4.xのみで3.x、5.x、6.xでは発現しません。
- 2013-03-02

通し番号の調整 (SerialBoost) を追加した4.0.8を公開
- 2013-02-28

送信数制限の計測法を修正した4.0.7を公開
- 2013-02-26

メールフォームプロ4.0.6 公開

メールフォーム4.0.6からの新機能

CSVログ簡易暗号化機能、HTML5準拠、エラーページ簡単カスタマイズ機能、設定ファイルの分岐、jqueryは使ってません！、スイッチング機能、ショッピングカート機能、入力タイムライン取得、フォームドロップ率の感知、オートメーション構築、ステルス機能、URL送信の制限、日付フィールドの期間指定、音声入力機能 (ベータ)、エラー表示拡張、レジュームの例外

はじめに

この度はメールフォームプロをダウンロードしていただきありがとうございます。開発している和田という者です。はじめまして。

このプログラムは「**究極のユーザビリティ**」と「**とにかく前衛的**」をコンセプトに開発されたメールフォームです。プロとしているのはプロが使っても満足できる仕様のものにしたかったためです。

また「お問い合わせフォーム」というありふれたものを、真剣に考えてほしいという気持ちもあり、解析機能などを多く盛り込んでいます。制作者さんを含めて、お問い合わせフォームはとりあえず付けて終わりという場合が少なくありませんが、お問い合わせフォームは様々な出会いや繋がりを生み出すWebの本質と言っても過言ではありません。それゆえ、おざなりにしてはしくないのです。

入力する人の立場になって、親切に・シンプルで・理解しやすいフォームを提供できるように、本プログラムが一助になれば幸いです。

後述の注意事項にもありますが、ご利用に関しては個人利用・商用利用を問わずフリーでご利用いただけます。著作権表示なども必要ありません。著作権表示等の義務は発生しませんが、うまく設置できた暁には恒例ですが北海道は札幌の方角に向けて一礼をお忘れなく。

さあ、それじゃあ設置マニュアルの旅へLet's GOだってばよっ。

注意点

CGIファイルを編集する際に

✕メモ帳

✕テキストエディット

✕ホームページビルダー

✕Adobe DreamWeaver

を使うのは**ゼツタイダメ!**本プログラムは文字コードUTF-8で作られており、上記のアプリケーションで編集する場合BOMという特殊な目に見えないデータが加えられてしまい、サーバ上でプログラムが動作しくなくなります。

Windowsの場合はTeraPad

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~t-susumu/library/tpad.html>

MacOSの場合は ミミカキエディット

<http://www.mimikaki.net/>

を使い**UTF-8N (BOM無し)・改行コードLF**で保存しましょう。

アップロード前に確認すること

CGIが動くサーバかどうか

CGIが動くサーバかどうかをまず確認しましょう。レンタルサーバ会社のWebサイトのFAQページに大体掲載されてます。その際に「Perlのパス」も確認してください。

sendmailが利用できるかどうか

このプログラムではサーバのsendmailという機能を使ってメールを送信します。sendmailが使えるサーバかどうかを確認しましょう。大体使えると思いますが、sendmailが利用できない場合はSMTPサーバを使うオプションもあります。

Yahooジオプラスの場合

Yahooジオプラスの場合、コントロールパネルで許可されたメールアドレスしか送信する権限を持ちません。

<http://geocities.yahoo.co.jp/v/originalcgi/sendmail/>

上記URLを参照の上、必ずメールアドレスの設定を行なってください。

また、ジオプラスの場合はconfig.cgiで以下の設定をしてください。

メールの差出人を固定 (0:無効 / 1:固定)

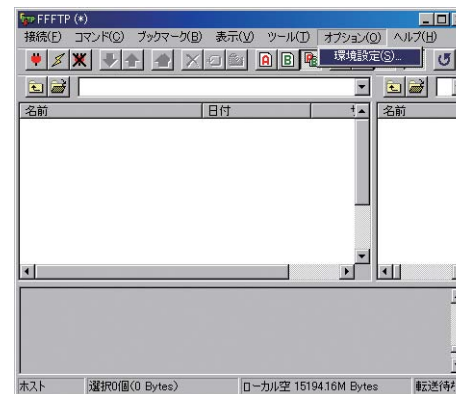
```
$config['fixed'] = 1;
```

連続送信対応

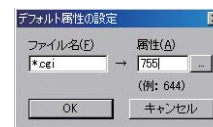
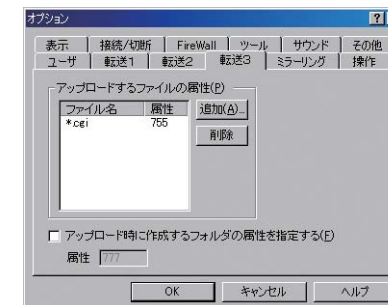
```
$config['seek'] = 3;
```

FFFTPを利用する場合

多くのWindowsユーザが使ってるFFFTPですが、ちょっと設定しておくでCGIの設置が格段にスムーズになります。以下の手順でFFFTPの設定を変更しておくで、以後、別なCGIを設置する時も俄然楽になりますのでぜひ設定を。



FFFTPを起動してメニューバーにある「オプション(O)」→「環境設定(S)」を開きます。すると以下のウィンドウが表示されます。



「追加(A)」をクリックすると左記のウィンドウが表示されるので、まず「ファイル名(F)」のところに半角英数で

***.cgi**

と入力し、「属性(A)」のところに

755

と入力しましょう。この設定をする事によって、以後、CGIファイルをアップする際は自動的にパーミッションが755に設定されます。同様にphpなども設定できるので、phpなどをよくアップロードする方はぜひ設定しておこう。

添付ファイル機能付きメールフォームプロ



添付ファイル機能(ファイルアップロード機能)が備わったメールフォームプロは有償になります。お値段はお高いですが、転売・再配布を除いて**利用は無制限**です。

お値段はとってもお高い

42,000円

Dropboxとの連携機能 NEW

添付ファイルとして送られたファイルをDropboxに自動転送することができます。

複数ファイルの添付・アップロード

複数のファイル選択エレメントをひとつのフォーム内に設置が可能です。

Multipleアップロード

ひとつのファイル選択項目で、複数のファイルを一括して指定・選択する機能です。

※Multipleに対応しているのはChrome、Safari、Firefox、MSIE9以降です。

サーバへ保存

添付・アップロードされたファイルをサーバに保存しておくことが可能です。

サーバの通し番号毎のフォルダに保存

上記、サーバへ保存機能を利用時に、通し番号のフォルダを自動作成し、その中に保存します。

ファイルサイズ・ファイルサイズ合計の制限

個別ファイルサイズの上限、すべてのファイルサイズの上限を設定することができます。

ファイルタイプ制限

添付・アップロードできるファイルタイプを拡張子により制限することができます。

メールに添付しないオプション

フォームから送信されるメールに添付せずに、サーバに残すことができます。

これによりメールボックスで受け取れないサイズのファイルアップロードにも対応可能です。

Dropboxとの連携機能でとっても便利!! NEW



添付ファイルを自動転送

Dropbox Desktopを使っていれば
ファイルが自動的にデスクトップに!

添付ファイル機能アドオン バージョン1.02からDropbox APIに対応いたしました。

メールフォームプロに添付されたファイルを自動的にDropboxにアップロード。DropboxにはAppフォルダ内のアプリフォルダに通し番号フォルダ毎にオリジナルのファイル名で保存される仕様になっています。

Dropbox Desktopクライアントをご利用の場合は、メールで受け取る事無く自動的にデスクトップにファイルが同期されますので、データ入稿フォームやフォトコンテストなどの応募フォームとしてご利用いただく場合は運用が非常に便利になります。

※Dropboxへ転送できるファイルサイズはご利用のWebサーバの仕様に依存します。

※ご利用のWebサーバによっては本機能はご利用いただけない場合があります。

※ちなみにさくらインターネットの場合で250MB程度の転送が可能です。



すでに添付ファイル機能をご購入の方へ

すでに添付ファイル機能付きメールフォームプロ、または添付ファイル機能アドオンをご購入頂いているお客様は無償でアップデートが可能です。お求めの際は大変お手数ですが、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

サポートについて

サポートは基本的に無償で行っておりますが、メール・電話での質問・サポートは有償になります。無償サポートをご希望の場合はサポートFAQへご投稿ください。サポートFAQへご投稿いただいた場合、回答までにお時間はかかりますが、必ず回答いたします。将来的なことを考えると、できればご自身で設置できたほうが良いと私は思います。うまく設置できた時の達成感はなかなかのもんだと思います。例えるならばデモンズソウルの城1をクリアした時のように。

有償サポート・有償設置は以下に当てはまる場合にご検討ください。

- ✓ 回答を待ってる時間が無い場合。
- ✓ 設置URLを公開できない場合。
- ✓ 何かしらのカスタマイズをする必要がある場合。
- ✓ どう頑張っても自分では無理だと絶望した場合。
- ✓ お金が余ってて使いたくて仕方が無い場合。
- ✓ 和田にお金を払いたくて払いたくて仕方が無い場合。

メールフォームプロ4からはよほどの事が無い限りは、かなり簡単に設置できる仕様になったと自負しておりますのでぜひご自身の設置にチャレンジしてみてください！

一度、最初からやりなおしてみる

うまく設置できない場合、最初からやりなおしてみるという方法は高い確率でうまくいきます。アレコレと試行錯誤を繰り返していると、小さなミスが多岐に渡って発生するため、行き詰ったら一度ゼロからやり直してみてください。きつとうまくいくはずです！

カスタマイズや最適化について

メールフォームプロは何でもできます。ただ、深いカスタマイズをする場合はCGIやJavascriptへある程度の造詣が必要になる場合も当然あります。「こんな感じにしたい!」「あんなことしたい!」という場合、知識のある方はサポートFAQへ、それ以外の方はぜひカスタマイズをご相談・ご依頼ください。

カスタマイズの例としては

- ・見積り自動計算をさせたい → 標準機能でできます。
- ・ショッピングカートのように使いたい → 標準機能でできます。
- ・添付ファイル機能が欲しい → 別売になります。
- ・会員登録させたい → SQL Export機能で代替できるかも。

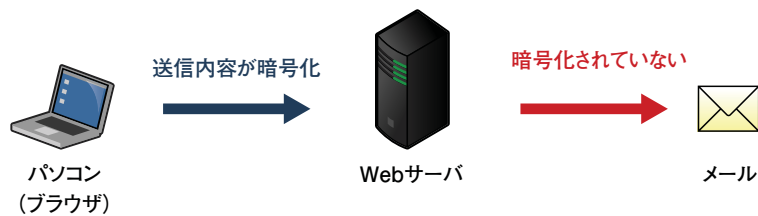
と、いう感じでほとんどのことは標準機能である程度できます。一般的に利用する場合はほとんどカスタマイズの必要はありません…。

カスタマイズしないとできないぞ!ということがあればぜひご相談ください。

また、お問い合わせフォームの最適化(EFO)なども行っておりますので、他のフォームからの乗り換えなどを含めて、何かあればご相談ください。

誤解の多いSSLについて

SSLを誤解している人が多いので、簡単な解説をしますね。まず、**SSLはCGIなどのプログラムとは一切関係が無い**という事をご理解ください。SSLは**ブラウザとWebサーバ間の通信を暗号化する**もので、CGIが対応している、していないというのは実際のところありません。



上記のようにhttpsプロトコルを通す事で、ブラウザとWebサーバ間の通信は暗号化されますが、**Webサーバから送信されるメールは基本的に暗号化されません**。そのため、より厳格なセキュリティを求める場合は送信されるメールに情報を記載せず、WebサーバにCSVで保存したり、DBにエクスポートする必要があります。

ただ、ブラウザとWebサーバ間を暗号化するだけでも意味はあります。それは**公衆無線LANなどのオープンなネットワークを介した場合のパケット傍受から送信内容を守ることができる**ためです。

よほど標的と成り得る特定の企業を除いてはメール通信の傍受などが発生する可能性は限りなくゼロに近いため、さほど気にする必要は無いと思いますが、必須ではない個人情報の収集などは可能な限り避けることが賢明でしょう。

メールフォームプロ4.1.3のGmail SMTP機能にてTLSでの送信に対応しました。

アップデート方法

⚠️ アップデート前に必ずバックアップを。

アップデートする際は必ず既存データをバックアップしてください。場合によってはアップデート後にうまく動作しなかったり、不具合が起こる場合があります。既存データをバックアップしておけば、すぐに戻せるので安心ですね!

⚠️ 差分データアップロード時にご注意ください。

アップデート用の差分データには一部設定ファイルの情報も含まれています。利用していない設定ファイルであれば問題ありませんが、すでに利用中のモジュールがアップデートされる場合は設定が初期化される場合がありますためご注意ください。

⚠️ 必ず送信テストをお願いします。

アップデート後は必ず動作のご確認をお願いします。ChromeやFirefoxなどのデバッグコンソールを利用し、Javascriptエラーが出ていないかもご確認ください。

アップデート方法

差分データによるアップデートは以下の手順で行ってください。

1 差分データをダウンロードする

「差分」と書かれた差分データをダウンロードしてください。

2 既存データをバックアップする

すでに設置済みのデータをサーバ上からダウンロードしてください。

3 差分データの中身を確認する

差分データ内のconfigsフォルダ、add-onsフォルダ内を確認し、設定や改修を行った同名ファイルがある場合は差分データ側に同様の設定・改修を行ってください。

4 差分データをアップロードする

差分データを設置済みのデータに上書きアップロードしてください。

5 必ず動作確認する

送信テストを含めた動作確認をとってください。

メールフォームプロ4.1.3のアップデート内容

Mailauth機能

いわゆるメールアドレスの確認機能です。入力されたメールアドレス宛に仮メールを送信し、そのメールに記載されているURLにアクセスすることで送信されるというものです。

```
#push @Modules,'mailauth'; ## メールアドレス認証
```

の行頭のシャープを外し、`/configs/mailauth.cgi`を編集します。

アンケート集計機能

入力欄のname属性で特定の文字列から始まる内容をログし集計します。また、Google Chart APIを利用して集計したり、情報をjsonで呼び出すことができる機能です。

```
#push @Modules,'questionnaire'; ## アンケート集計モジュール
```

の行頭のシャープを外し、`/configs/questionnaire.cgi`を編集します。

jsonを呼び出す場合は

```
mailformpro.cgi?module=questionnaire&mode=json&callback=コールバック関数
```

として呼び出してください。

一度きりの送信機能

フォームからの送信を一度きりにさせたい場合の機能です。Cookieやメールアドレスをキーとして、複数回同一のセッションやメールアドレスからの投稿をブロックします。

```
#push @Modules,'reponce'; ## 一度きりの送信
```

の行頭のシャープを外し、`/configs/reponce.cgi`を編集します。

レジューム機能無効化

メールフォームプロの標準機能であるレジューム機能を無効化するためのアドオンです。

```
#push @AddOns,'noresume.js'; ## 入力された内容をレジュームしない
```

の行頭のシャープを外します。

SMTP Authに対応

SMTP送信機能がSMTP Authに対応しました。

初期値を無効

入力要素の初期値(defaultValue)が設定されている場合、focus時にその値をクリアするためのアドオンです。

```
#push @AddOns,'defaultValue.js'; ## 初期値を無効
```

の行頭のシャープを外します。

ページ離脱時に確認画面

入力画面から離脱する際に「離脱していいですか?」の確認をするための機能です。

```
#push @AddOns,'beforeunload.js'; ## ページを離脱する際のアラート
```

の行頭のシャープを外します。

入力欄の自動サイズ調整機能を無効化

入力欄を勝手に自動調整する機能を無効にします。

```
#push @AddOns,'sizeajustdisabled.js'; ## 入力欄の自動調整機能を無効化
```

の行頭のシャープを外します。

送信ボタン無効化

入力エラーが確認された場合に送信ボタンを無効にし、代替テキストを反映します。

```
#push @AddOns,'submitdisabled.js'; ## エラー時に送信無効
```

の行頭のシャープを外し、submitボタンにdata-disabledを設定してください。

例) `<button type="submit" data-disabled="入力内容にエラーがあります">送信する</button>`

GmailSMTP機能

GmailのSMTPを利用してメールを送信するための機能です。

```
#push @Modules,'GmailSMTP'; ## GmailのSMTPを使う場合
```

の行頭のシャープを外し、`/configs/GmailSMTP.cgi`を編集します。

共有サーバなどで、IPセグメントがブラックリストに載ってしまった場合など、確実にメールを送信・受信するための手段としてご利用ください。fromはGmailアドレス固定になります。

| メールアドレス登録・解除

メールアドレスを登録したり解除させたり。メルマガのリスト化などに便利な機能です。

#push @Modules,'regist'; ## メールアドレスの登録・解除

の行頭のシャープを外し、/configs/regist.cgiを編集します。

メールフォームプロの設置方法

動的ファイル群 (プログラム系)

動的ファイル群はCGIをcgi-binフォルダ内に設置しなければならないサーバではcgi-binフォルダにアップします。

⊕ mailformpro	755	メールフォームプログラムのフォルダ
+ mailformpro.cgi	755	プログラム本体
+ config.cgi		設定ファイル (編集するファイル)
⊕ data	777	データ保存用フォルダ
⊕ add-ons		アドオンフォルダ
⊕ configs		設定用フォルダ (モジュール用)
⊕ libraries		モジュール用フォルダ
⊕ iplogs	755	IPログ機能用フォルダ
+ iplogs.cgi	755	IPログ機能本体
+ iplogs.dat.cgi	777	IPログ機能用データファイル

静的ファイル群 (非プログラム系)

静的ファイル群はHTMLやCSS、画像などプログラムとは無関係なものが格納されています。

+ example.html	メールフォームサンプルHTMLファイル
+ thanks.html	サンクスページサンプルHTMLファイル
⊕ mfp.statics	CSSや画像などの用のフォルダ
+ mailformpro.css	メールフォーム用CSSファイル
⊕ css	メールフォーム用CSSファイル
⊕ images	画像フォルダ
⊕ add-ons	アドオンフォルダ
⊕ audios	音声データフォルダ
+ cart.js	カートに入れるためのスクリプト
+ cart.css	カートに入れるボタンのスタイル

Perlのパスを変更しよう

多くの場合、変更の必要はありませんが、ご利用のWebサーバによってはPerlのパスを変更する必要があります。Perlのパスとは「mailformpro.cgi」の1行目に記述されている「#!/usr/bin/perl」という部分です。ご利用のWebサーバのFAQなどをご覧になって、Perlのパスが異なる場合は変更しましょう。

設置方法 ～どこでもCGIが動くサーバ～

どこでもCGIが動くサーバの場合。

1 設置したい場所にフォルダをつくる

Webサーバ上にテキストにフォルダをつくりましょう。

2 ファイルを全部アップロードする

何もファイルを編集せずに作成したフォルダに、動的ファイル群・静的ファイル群をまとめてアップロードしましょう。

3 パーミッション(ファイル属性)を設定する

前のページに記載されている情報を元に、パーミッション(ファイル属性)を設定しましょう。

4 example.htmlにアクセスする

ブラウザからexample.htmlにアクセスします。その際に「**mailformpro.cgi は正常に動作しています。**」という表示ができればOKです。「**CGI動作チェックモジュールを実行する**」にアクセスして情報を見てください。

5 config.cgiを編集しましょう

あとはmailformproフォルダ内のconfig.cgiを編集して、各設定を行なって行きましょう。

設置方法 ～特定の場所でしかCGIが動かないサーバ～

CGIが特定のディレクトリでしか動かない場合。

1 動的ファイル群をアップロードする

CGIが動作するフォルダにmailformproフォルダをアップロードしましょう。その際にパーミッション(ファイル属性)の設定もしちゃいましょう。

2 example.htmlを編集する

example.html内の<form>タグと<script>タグで指定されている「**mailformpro/mailformpro.cgi**」のパスを、環境に合わせて調整します。

3 静的ファイル群をアップロードする

静的ファイル群を上記で設定したパスがズレない位置にアップロードしましょう。

4 example.htmlにアクセスする

ブラウザからexample.htmlにアクセスします。その際に「**mailformpro.cgi は正常に動作しています。**」という表示ができればOKです。「**CGI動作チェックモジュールを実行する**」にアクセスして情報を見てください。

5 config.cgiを編集しましょう

あとはmailformproフォルダ内のconfig.cgiを編集して、各設定を行なって行きましょう。

設置方法の詳細

メールフォームプロ4の設置はとても簡単です。

```
<link rel="stylesheet" href="mfp.statics/mailformpro.css" type="text/css" />
<form id="mailformpro">
  <input type="text" name="お名前" />
  <button type="submit">送信する</button>
</form>
<script src="mailformpro/mailformpro.cgi" id="mfpjs"></script>
```

最低限であれば上記のようなタグ構成で動作させる事ができます。

※mailformpro.cgiとmailformpro.cssのパスは調整してください。

example.htmlを参考に、自由に設問を増やしたり減らしたりしてみましょう。

設定ファイルについて (config.cgi)

設定ファイルの編集について

設定ファイルの編集は細心の注意を払って行なってください。文字コードや改行コードが変わってしまうと、プログラム全体が動作しなくなる場合がありますので、編集時には気をつけてください。

行頭に#が付いている場合

行頭に#がついている場合はコメントアウトとして認識されており、その行は無効として扱われます。

宛先の設定

宛先は `push @mailto,'support@synck.com';` と、設定します。行を複製することで、複数の宛先を指定することもできます。先頭で指定されたメールアドレスが差出人として利用されます。

メール本文の編集・整形について

メール本文に入力された値などを挿入したい場合は

`<_入力欄のname属性_>`

というように設定します。例えば「お名前」という入力欄の場合は

`<_お名前_>`

とすることで、お名前入力欄に入力された値に置き換える事ができます。

`<%お名前:お名前%>`

と書くことで「お名前」項目が入力されている場合のみ、表示されます。

この規則はCSVExportやSQLExport、HTMLメールなどの機能にも適用されます。

3.xと異なりアンダースコアが追加されていますので、ご注意ください。

環境変数

<code><_resbody_></code>	入力された内容すべて
<code><_resbodyHTML_></code>	入力された内容すべて (HTML版)
<code><_mfp_env_></code>	環境変数すべて
<code><_mfp_uniqueuser_></code>	ユニークユーザ
<code><_mfp_date_></code>	送信日時
<code><_mfp_hostname_></code>	ホスト名
<code><_mfp_ipaddress_></code>	IPアドレス
<code><_mfp_useragent_></code>	ブラウザ
<code><_mfp_pageview_></code>	ページビュー
<code><_mfp_serial_></code>	通し番号
<code><_mfp_formreferrer_></code>	送信元(リファラ)
<code><_mfp_input_time_></code>	入力時間
<code><_mfp_input_time_avg_></code>	平均入力時間
<code><_mfp_confirm_time_></code>	確認時間
<code><_mfp_confirm_time_avg_></code>	平均確認時間
<code><_mfp_referrer_></code>	フォームに付く前のURL
<code><_mfp_errorlog_></code>	エラーの発生した項目
<code><_mfp_cvr_></code>	コンバージョンレート
<code><_mfp_droprate_></code>	ドロップ率
<code><_mfp_dropcount_></code>	ドロップ数
<code><_mfp_timeline_></code>	タイムライン
<code><_mfp_domain_></code>	送信ドメイン
<code><_mfp_uri_></code>	送信元(フォーム)
<code><_mfp_jssemantics_></code>	Javascriptの挙動
<code><_mfp_cartprice_></code>	代金
<code><_mfp_cart_></code>	商品カート
<code><_js_mode_></code>	Javascriptの実行結果

通し番号の書式

初期設定で通し番号は日付文字列+4桁の通し番号で構成されます。

```
$config['SerialFormat'] = '<date>%04d';
```

という部分の<date>に日付が、%04dに通し番号が反映されます。

件名の書式

初期設定で件名の書式は[通し番号] 件名で構成されます。

```
$config['subject'] = '[ %s ] お問い合わせフォームから';
```

上記の %s の部分に通し番号が反映されます。自動返信メールの件名も同様の仕様になります。

サンクスページのパス

本プログラムでは送信に成功した場合にサンクスページへリダイレクトします。

初期設定では

```
$config['ThanksPage'] = '../thanks.html?%s';
```

このように設定されており、%s の部分には通し番号が反映されます。

通し番号の受け渡しはサンクスページで通し番号を利用する場合に設定します。

自動返信メールの有効化

初期設定で自動返信メールは無効になっています。有効にする場合は

```
# $config["ReturnSubject"] = '[ %s ] お問い合わせありがとうございました';
```

行頭の#を削除してください。

差出人を固定

フォームから送信されるすべての差出人を固定にします。一部Webサーバ(Yahooジオプラスなど)ではこの設定が必須になります。また、管理者へ届くメールが迷惑メールやフィッシングメールとして認識される場合はこの設定を有効にすることで回避できます。

連続送信対応

メールを送信する際に一定時間をあける必要のあるWebサーバ(Yahooジオプラスなど)の際に、秒数を指定します。

送信数制限

初期設定では無効になっています。

送信回数が一定数を超過した場合、以後の送信を停止します。

受付開始・終了日時

初期設定では無効になっています。

送信を受け付ける期間を設定することができます。

署名の変更忘れにご注意ください

過去、多くの自動返信メールで署名の書き換え忘れが発生しておりました。自動返信メール機能を利用する場合は、必ず自動返信メールの内容確認を行ってください。

通し番号への加算値 4.0.8

通し番号は基本的に0から開始されますが、過去のフォームの番号を引き継ぎたい場合などはSerialBoostを設定してください。

config.cgi内の

通し番号への加算値

```
$config{'SerialBoost'} = 0;
```

という部分を

通し番号への加算値

```
$config{'SerialBoost'} = 100;
```

と設定することで通し番号が100からスタートします。ただ、これは擬似的な処理になるためプログラム本体が管理するデータファイルでは0からカウントされます。

本機能は4.0.8以降から対応ですので、上記記述が無いバージョンをご利用の場合はconfig.cgiに記述を追加し、core.cgiを更新してください。

未入力項目を含める 4.1.2

未入力の項目を届くメールや自動返信メールに含める場合は

未入力の項目を含める(1: on / 0: off)

```
$config{'blankfield'} = 0;
```

を

未入力の項目を含める(1: on / 0: off)

```
$config{'blankfield'} = 1;
```

にしてください。

開封通知 4.1.2

開封通知に対応したメーラーで受信したメールに開封通知を求める場合、config.cgiの以下の行を修正してください。

開封確認 (開封確認を通知する場合は以下の1行のコメントを解除)

```
# $config{'Notification'} = $mailto[0];
```

を

開封確認 (開封確認を通知する場合は以下の1行のコメントを解除)

```
$config{'Notification'} = $mailto[0];
```

としてください。

開封通知を送信するメールアドレスを別途指定したい場合は

```
$config{'Notification'} = 'notice@synck.com';
```

というように、メールアドレスを指定してください。

高度なsendmailの設定 4.1.3

サーバの仕様により一風変わったsendmailの指定が必要な場合は

詳細なsendmail設定

```
$config{'sendmail_advanced'} = '/usr/local/bin/sendmail -t -f$email';
```

上記の設定を有効にしてください。\$emailと記述された部分にtoのメールアドレスが置き換えられます。

基本機能について

必須項目の指定

設問への入力を必須にしたい場合は、必須にしたいエレメントタグに以下の属性を追加します。

```
required="required"
```

例) お名前を必須項目にしたい場合

```
<input type="text" name="お名前" size="15" required="required" />
```

必須項目が未入力、又は未選択の場合はエラーが表示されます。

エラー表示は自動的に追加されますが、任意の位置へエラーを表示したい場合は以下のように設定します。

```
<div id="errmsg_お名前" class="mfp_err"></div>
```



selectタグが必須項目にならない

よくある見落としとしてoptionタグのvalue属性が設定されていない場合があります。未選択のoptionはかならずvalue=""を設定してください。



必須項目を切り替えたい

必須項目に指定された入力エレメントはdisabledを指定することで必須項目から除外することができます(入力も不可になります)。



DreamWeaverをご利用の場合

DreamWeaverをご利用の場合、`required="required"`の記述が自動的に「required」に置き換えられる場合があります。その際は`required="required"`の記述の前に半角スペースを2つ入れる事で自動的に置き換えられなくなります。

エラー表示の強調

エラー表示の強調機能では、エレメントチェックによりエラーが発生した場合に、そのエレメントにより指定されたdata-parentオブジェクトに対してclass「`mfp_parent_error`」を指定します。

※example.htmlのemail欄に指定されています。

※mfp_parent_errorは `/mfp.statics/css/error.css`に定義されています。

例)

```
<div id="namefield">
  <input type="text" data-parent="namefield" name="お名前" />
</div>
```

上記の例の場合、お名前欄でエラーがあった場合に、`div#namefield`のclassが `mfp_parent_error`に変更されます。

エラーエレメントのスタイル

エラーの発生したエレメントはclass名に`problem`が付け加えられます。

例)

```
<input type="text" name="会社名" class="example" />
```

上記の例でエラーが発生した場合、class名は`exampleproblem`に変更されます。エラーが解決した場合は、元のclass名に戻ります。

maxとmin

各入力欄にmaxとminを設定することでいろいろできます。maxとminは
`data-max="100" data-min="10"`
のように指定します。

01.文字数の指定

typeがtext、textareaの場合はmaxとminは文字数の指定として振舞います。

02.チェック数の指定

typeがcheckboxの場合はチェックできる下限と上限の指定として振舞います。

03.日付の指定

typeがdateの場合は日付の期間指定として振舞います。

```
<input type="date" data-type="date" data-min="1990-01-01" data-max="2000-01-01" name="日付" />
```

と指定すると1990年1月1日～1999年12月31日までの間のみ受け付けるということになります。

ドロップ機能

別なフォームから値の受け取りができる機能です。

```
<form action="フォームHTMLのURL">
  <input type="text" name="会社名" />
  <input type="submit" value="送信する" />
</form>
```

上記のようなformを別ページに設置することで、会社名欄に入力された情報をダイレクトに反映することができます。

言語設定について

Javascriptから自動生成される文言・語句はすべて以下のファイルで編集することができます。

[mailformpro/configs/lang.ja.js](#)

[mailformpro/configs/lang.ja.cgi](#)

レジューム機能

レジューム機能は入力内容をブラウザが閉じられるまで保持するための機能です。予期しないページ移動やプログラムエラーが発生した場合に、入力内容が消失することを防ぐ機能です。以下の設定をすることでレジューム対象から項目を除外することができます。

```
data-exc="1"
```

ブラウザを閉じると保持していた情報は消去されます。

項目連結

特定の入力欄の内容を連結し、確認画面や送信内容を表示させるための機能です。例えば「姓」と「名」に入力欄が分かれている場合、

```
<input type="hidden" name="お名前" data-unjoin="姓+ 名" />
```

と、することで確認画面で連結させることができます。

`data-unjoin` の場合は確認画面でのみ連結。

`data-join` の場合は送信時も連結します。

HTML5タグ

メールフォームプロ4は一部のHTML5タグに対応しています。

対応しているtypeはemail、tel、date、numberです。これらのtypeはレガシーブラウザに対応するために以下の属性を併記してください。

```
data-type="email"
```

例) 生年月日入力欄の場合

```
<input type="date" data-type="date" name="生年月日" />
```

自動返信メール用入力欄

自動返信メールを送信するための宛先入力欄はname属性が固定です。

```
<input type="email" data-type="email" name="email" />
```

上記のように必ずname属性はemailとしてください。

自動返信メール用入力欄は確認用の入力欄を設置することができます。

その場合は以下の入力欄をセットしてください。

```
<input type="email" data-type="email" name="confirm_email" />
```

確認画面のカスタマイズ

確認画面のモードがフラットタイプの場合のみ、確認画面をCSS以外のHTML要素でカスタマイズすることができます。カスタマイズした確認画面を表示したい場合は確認画面表示用の以下のタグを<form id="mailformpro">より上に追加してください。

```
<div id="mfp_phase_confirm">  
  <div id="mfp_phase_confirm_inner"></div>  
</div>
```

div#mfp_phase_confirm_inner内に確認画面用のHTMLが生成されます。

div#mfp_phase_confirm内は自由にカスタマイズすることができます。

行背景のストライプ

class="mfp"を指定したdt・dd・trタグには以下の規則性に従ってclassが割り当てられます。

偶数行…class="mfp_colored"

奇数行…class="mfp_achroma"

上記のスタイルは以下のファイルで編集することができます。

```
/mfp.statics/css/stripe.css
```


価格計算機能

価格計算機能はエレメントに指定された価格情報と数量を掛けあわせて合算値を出すための機能です。PayPal決済モジュールと連動することで、クレジットカード決済を行うこともできます。

01.価格表示用タグ

```
<div id="mfp_price"></div>
```

02.価格受け渡し用タグ

```
<input type="hidden" name="お支払い金額" id="mfp_price_element" />
```

03.商品と価格の設定

商品項目にしたいselectタグ、textタグ、numberタグ、radioタグ、checkboxタグに **data-price="単価"**と**id属性**を指定してください。**id属性**は商品IDとしても利用されるため、必ず設定してください。

selectタグ、textタグ、numberタグの場合は入力・選択された数値が数量として認識され、checkbox、radioの場合は数量1としてカウントされます。

敬称や単位を付ける 4.1.2

お名前や数量に敬称や単位を付けたい場合は

```
<input type="text" name="お名前" data-format="$1 様" />
```

と**data-format**を設定することで、敬称や単位を付けることができます。

※**number**などの**type**に**data-format**を指定した場合、数値以外の文字が含まれると情報がうまく送信されない場合があります。

メールの内容について

ページビュー

ページビューは送信者がフォームのページを開いた回数です。

ユニークユーザ

フォームのページを訪れた人数です。

コンバージョンレート

$\text{送信した人数} \div \text{フォームのページを訪れた人数}$ です。
フォームを開いた何%の人が送信に至ったかという数値ですね。

ドロップ数

フォームに何らかの入力を行ったが、送信に至らなかった人数です。

ドロップ率

$\text{ドロップ数} \div \text{フォームのページを訪れた人数}$ です。

入力時間

送信者がフォームへの入力にどの程度時間がかかったかです。

平均入力時間

入力時間の平均値です。

確認時間

確認画面を開き、送信ボタンが押されるまでの時間です。

平均確認時間

確認画面の平均値です。

エラーの発生した項目

入力エラーや選択ミスが発生した項目です。

フォームに付く前のURL

フォームへたどり着く前にいたページ(リファラ)です。
取得できなかった場合はNot Providedと表示されます。

タイムライン

フォームを開き、どういう変遷で送信したかを時系列にリスト化したものです。

スタイルシートについて

</mfp.statics/css/>

確認画面 内部要素テーブル

各確認画面に表示される確認内容の仕様です。

base.css	フォーム全体のスタイル
confirm.css	確認画面、内部要素のスタイル
confirm.flat.css	フラットタイプ確認画面のスタイル
confirm.overlay.css	オーバーレイタイプ確認画面のスタイル
error.css	エラー画面・エラー表示関連のスタイル
warning.css	ワーニング画面のスタイル
input.css	入力フィールド関連のスタイル
label.css	ラベル関連のスタイル
loading.css	ローディング画面のスタイル
price.css	価格表示部分のスタイル
stripe.css	ストライプのスタイル
phase.css	段階入力機能に関するスタイル

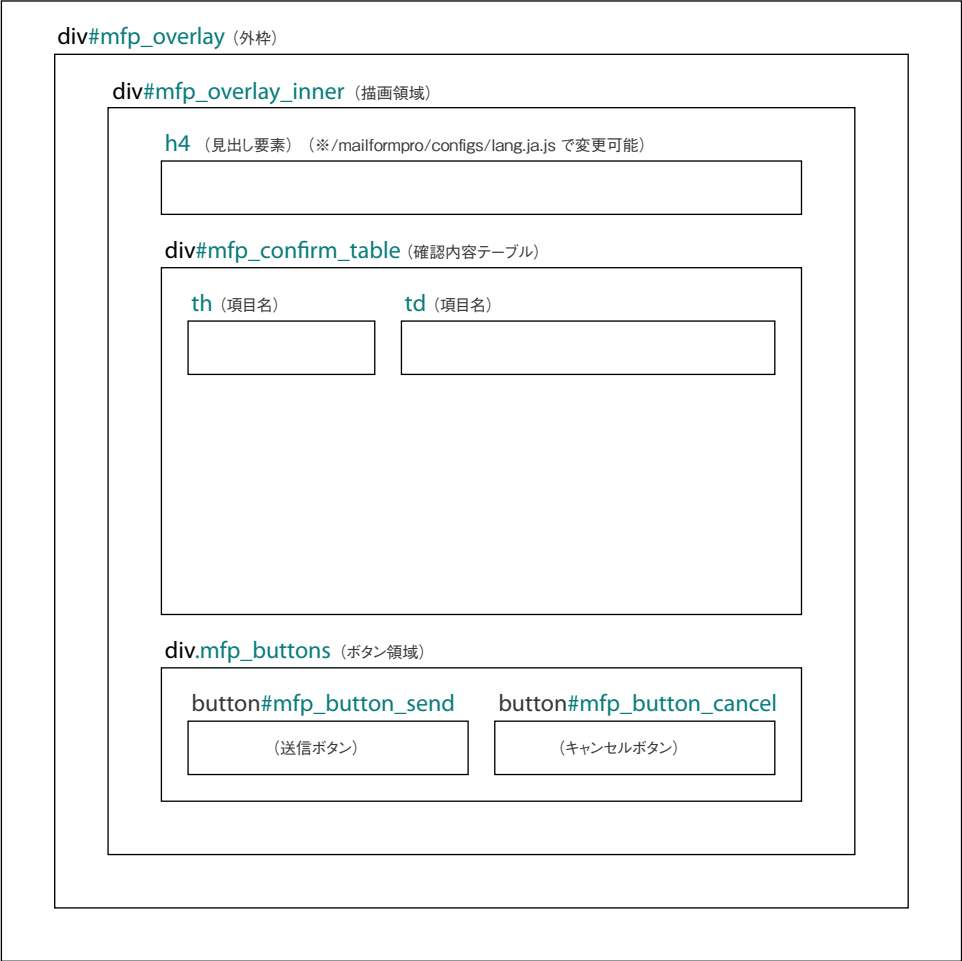
(キャンセルボタン)

オーバーレイ確認画面

画面にオーバーレイするタイプの確認画面の仕様です。

css/confirm.overlay.css

div#mfp_overlay_background (背景色)

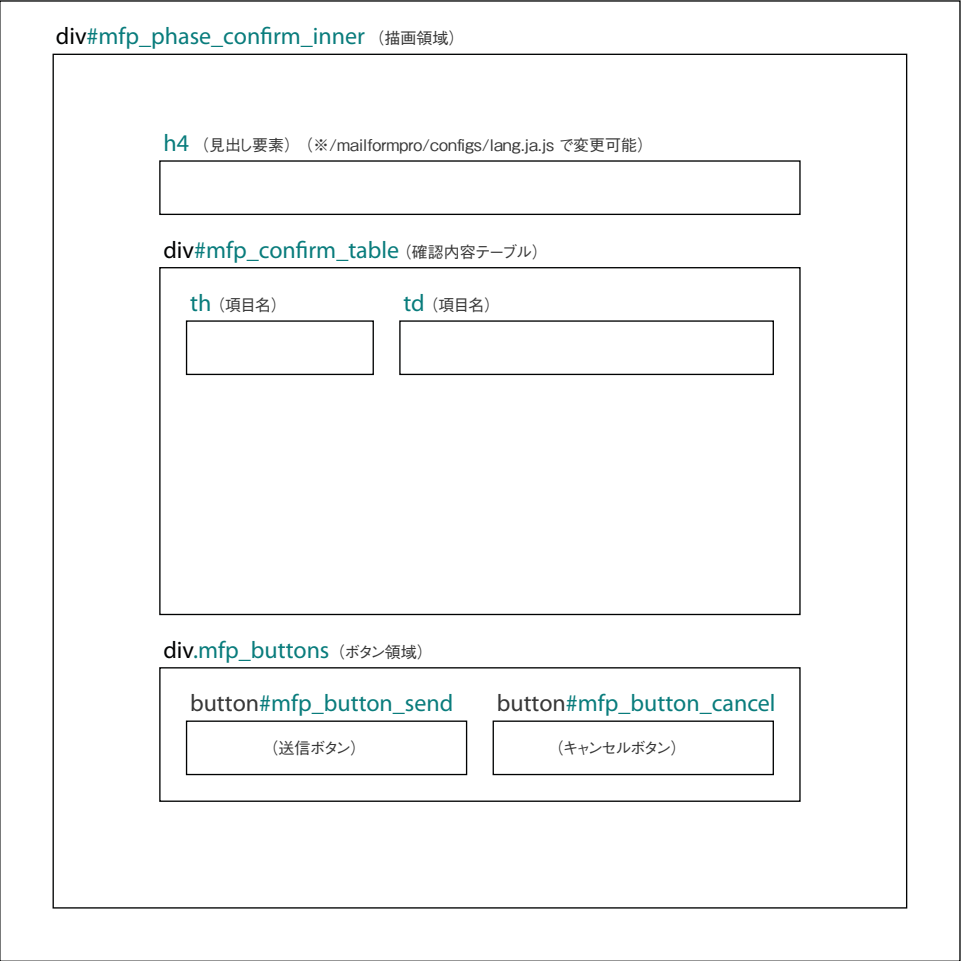


フラット確認画面

フラットタイプの確認画面の仕様です。

css/confirm.flat.css

div#mfp_phase_confirm (外枠)



アドオンとモジュールについて

アドオンとモジュールについて

メールフォームプロ4.0からは**アドオン**と**モジュール**という概念が追加されました。これはアップデートや機能追加を簡単に行う事と、基礎設置への負担を軽減するための仕様になります。

アドオンとは

メールフォームプロ4.0のアドオンは「**入力画面の追加機能**」と認識してください。多くの場合はJavascriptのみで動作しますが、郵便番号からの住所入力などはCGIを経由して動くものもあります。

モジュールとは

メールフォームプロ4.0のモジュールは「**送信プロセス時の拡張処理**」と認識してください。HTMLメールを追加したり、vCardを追加したり、CSVログを保存するなどの機能もすべてモジュールになります。

アドオン一覧

動作チェック	住所入力
イタズラ防止	フリガナ(Firefox非対応)
文字校正	テキスト整形
(技術デモ)ウェルカムメッセージ	プログレスバー表示
(技術デモ)音声入力	スイッチング機能サンプル
(技術デモ)音声ガイダンス	WebsiteToolKit.jsとの連動
レスポンシブWeb	段階的入力機能を追加

モジュール一覧

複数の設定ファイルを分岐させる	SQL発行機能
CGI動作環境チェック	IPログ機能
PayPal決済	vCard機能
SMTP送信	自動返信HTMLメール
CSV保存機能	iCalへの対応

アドオン機能の使い方

1 config.cgiを編集します。

config.cgi内の以下の部分を編集します。

行頭に#が入っているアドオンは無効に設定されています。

有効にしたいアドオンの行頭の#を削除して有効にします。

```
@AddOns = ();
push @AddOns, 'OperationCheck.js'; ## 動作チェック
push @AddOns, 'prefcode/prefcode.js'; ## 住所入力
push @AddOns, 'charactercheck.js'; ## 文字校正
push @AddOns, 'furigana.js'; ## フリガナ(Firefox非対応)
push @AddOns, 'charformat.js'; ## テキスト整形
push @AddOns, 'switching.js'; ## スイッチング機能サンプル
#push @AddOns, 'prevention.js'; ## イタズラ防止
#push @AddOns, 'wellcome.js'; ## (技術デモ)ウェルカムメッセージ
#push @AddOns, 'speechAPI.js'; ## (技術デモ)音声入力
#push @AddOns, 'ResponsiveWeb.js'; ## レスポンシブWeb
#push @AddOns, 'progress.js'; ## プログレスバー表示
```

2 アドオン機能の設定をする

特に設定が不要なアドオンもありますが、設定が必要なアドオンもあります。各アドオンの設定方法は後述のアドオン紹介をご参照ください。

モジュール機能の使い方

1 config.cgiを編集します。

config.cgi内の以下の部分を編集します。

行頭に#が入っているモジュールは無効に設定されています。

有効にしたいモジュールの行頭の#を削除して有効にします。

```
@Modules = ();
#push @Modules, 'MultiConfig'; ## 設定ファイルを分岐
push @Modules, 'check'; ## CGI動作環境チェック
#push @Modules, 'PayPal'; ## PayPal決済
#push @Modules, 'SMTP'; ## SMTP送信
#push @Modules, 'CSVExport'; ## CSV保存機能
#push @Modules, 'SQLExport'; ## SQL発行機能
#push @Modules, 'IPLogs'; ## IPログ機能
#push @Modules, 'vCard'; ## vCard機能
#push @Modules, 'HTMLMail'; ## HTMLメール
```

2 モジュールの設定ファイルを編集する

各モジュールの設定ファイルは

`/mailformpro/configs/モジュール名.cgi`

というファイル名で保存されています。

有効にしたモジュールの設定ファイルは必ず、確認・修正してください。

アドオンについて
</mailformpro/add-ons/>

イタズラ防止

メールアドレス入力欄にイタズラっぽい入力がある場合にエラーメッセージを表示します。
HTML側への設定は不要です。

文字校正

入力チェックに「数字のみ」「英語のみ」「英語と数字のみ(記号含まず)」「全角カタカナのみ」の入力制限を加え、範囲外の文字が入力された場合にエラーを表示します。HTML側へ設定する場合は、チェックしたい入力欄に

`data-charcheck="digit"` 数字のみ

`data-charcheck="alphabet"` 英語のみ

`data-charcheck="digit_and_alphabet"` 英語と数字のみ(記号含まず)

`data-charcheck="kana"` 全角カタカナのみ

上記のように「`data-charcheck`」属性を指定してください。

レスポンスWeb

このアドオンは**要カスタマイズ**です。

`add-ons/ResponsiveWeb.js` ファイルを編集してサイトのレスポンスWeb条件に合致した条件式をJavascriptで記述する必要があります。

郵便番号からの住所入力

郵便番号入力欄からフォーカスが外れた場合に、辞書を参照して住所を呼び出します。
郵便番号入力欄に「`data-address`」属性を指定します。

`data-address="都道府県,市区町村,市区町村"`

上記のように住所を格納するエレメントのname属性を指定します。

一つの入力欄にすべて格納する場合は

`data-address="ご住所,ご住所,ご住所"`

となります。

自動フリガナ

入力内容によって自動的にフリガナをフリガナ欄に出力するためのアドオンです。
「`data-kana`」属性を指定します。

`data-kana="メイ"`

上記のように設定すると、エレメント名が「メイ」のフィールドにフリガナが自動的に出力されます。

テキスト整形

text、textareaへ入力された文字を以下の法則に従って変換します。

全角英数字 → 半角英数字

半角カタカナ → 全角カタカナ

このアドオンは有効にするだけで機能します。

段階的入力機能

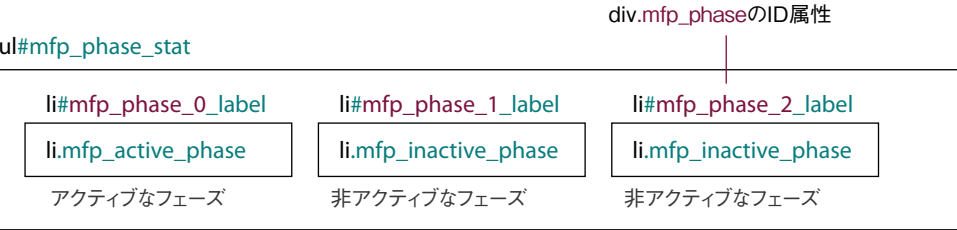
ウィザード形式のようにフェーズ(段階)を分けて入力してもらうための機能です。エラーチェックはフェーズ毎に行われます。

```
<div class="mfp_phase" summary="1.個人情報の入力">
```

```
  入力項目
</div>
```

上記のように段階毎にclass名mfp_phaseでくってください。
summaryが設定されている場合は、フェーズステータスにsummaryの内容が反映されます。この設定は必須ではありません。
基本的に、アドオン有効後に上記を行うのみで有効化します。

追加されるフェーズステータスの構造



上記の構造のオブジェクトが追加されます。
これらは手動で追加することもできます。



次へボタンと戻るボタンも自動的に追加されますが、手動で設置することもできます。その際はbuttonタグにmfp_prevか、mfp_nextというclass名を指定してください。

プログレスバー

入力されているエレメントが今どの程度の段階なのかを示すための機能です。

スイッチング機能サンプル

入力内容によって入力欄や必須項目を可変させたい場合に利用します。
用意されている関数は以下の通り。
mfp.sw([true(無効) or false(有効)],[ID],[true(隠さない) or false(隠す)]);

上記関数を実行することで、特定のIDオブジェクト内の入力欄を一括でdisabledに指定、解除することができます。

日付選択リスト

●日後から●日間分の日付リストを表示させるための機能です。日付リストはselectで表示されます。また、特定の曜日をリストから除外することもできます。

```
<select name="ご予約日" data-daystart="5" data-daymax="60">
  <option value="">ご予約日を選択してください</option>
</select>
```

上記のようにdata-daystart(●日後)とdata-daymax(●日間分)を指定することでselectタグ内に日付リストが追加されます。特定の曜日を除外する場合は独自属性data-weekexcを指定し、日・月・火・水・木・金・土の順番で0は表示、1は非表示として指定します。例えば日曜日と土曜日を除外する場合は
data-weekexc="1,0,0,0,0,0,1"
となります。

ドリルダウン

複数のselectタグをリレーションしてドリルダウンさせるためのアドオンです。

親ノードで選択された値を元に、子ノードのselectタグの内容を可変させるといった、いわゆるドリルダウン式のselect要素を簡単に実装するためのアドオン機能です。

例えば親ノードとして以下のようなタグがあった場合、

```
<select name="行きたい県" data-drillfor="childselect">
  <option value="北海道">北海道</option>
  <option value="沖縄県">沖縄県</option>
</select>
```

子ノードで以下のようなタグを用意することで、ドリルダウンを実現します。

```
<select id="childselect" name="行きたい都市">
  <optgroup label="北海道">
    <option value="札幌市">札幌市</option>
    <option value="小樽市">小樽市</option>
  </optgroup>
  <optgroup label="沖縄県">
    <option value="那覇市">那覇市</option>
    <option value="石垣市">石垣市</option>
  </optgroup>
</select>
```

少しややこしいですが、親ノードの<option>タグと、子ノードの<optgroup>の値を比較して、ドリルダウンを実現しています。data-drillfor属性で子ノードのIDを指定します。ドリルダウンは2段だけではなく、3段、4段と深くリレーションさせることもできます。

モジュールについて

/mailformpro/librarys/

PayPal決済

PayPal決済機能は非常に高度で面倒な機能です。

01.HTML側にPayPal決済を指定

PayPal決済モジュールを有効にすると共に、フォームHTMLで

```
<input type="radio" name="決済" value="PayPal" id="mfp_paypal_payment" />
```

上記のようにidがmfp_paypal_paymentのcheckboxかradioを設置してください。このオブジェクトにチェックが入っている場合のみ、PayPal決済モジュールが実行されます。また、価格計算機能を利用している事が前提となります。

02.PayPal決済設定ファイルを編集

PayPal決済にはPayPal APIに関する情報が必要になります。この辺りはPayPalサイトのFAQなどをご参照ください。PayPalでは開発者用サイトやsandboxを用意しているため、そのあたりを利用するとよいでしょう。

https://developer.paypal.com/cgi-bin/devscr?cmd=_home



セキュリティ設定

フォームからの送信時に価格情報などが不正に変更された場合に、それを検知し防ぐ機能がItem Secure Matchです。商品IDと価格情報を記載したTSV形式(タブ区切りテキスト)のファイルと照合することで、価格が不正に変更された場合に、その商品情報を無効にします。

詳細は以下のファイルをご参照ください。

[/configs/PayPal.cgi](#)

[/configs/Items.tsv](#)

設定ファイルを分岐

かなり高度な機能ですので、Perlが理解できる人を除いて利用しないほうがよいです。これはQUERY_STRINGなどによって呼び出す設定ファイル(config.cgi)を分岐させるためのものです。

詳細は設定ファイル [/configs/MultiConfig.cgi](#) をご参照ください。

HTMLメール

自動返信メールにHTMLメールを追加します。HTMLメールのテンプレートファイルは [configs/HTMLMailTemplate.html.cgi](#)を編集してください。

入力された情報すべてを表示させる場合は<_resbodyHTML_>を記述してください。

詳細は設定ファイル [/configs/HTMLMail.cgi](#) をご参照ください。

CSV保存機能

入力された内容のすべて、または特定の項目の内容をCSV形式でサーバ上に保存します。本機能は使い方によっては非常に危険な機能ですので、ご利用に関しては細心の注意を払ってください。

詳細は設定ファイル [/configs/CSVExport.cgi](#) をご参照ください。

SMTP送信

sendmailやpostfixを利用せずにSMTPサーバ経由でメールを送信するためのモジュールです。本機能をご利用いただくことで予期せず迷惑メールやなりすましメールとして扱われる確率が低減します。詳細は設定ファイル </configs/SMTP.cgi> をご参照ください。

SQL発行機能

MySQLかPostgresQL用のSQL文を発行します。

SQLファイルは</configs/SQLExportTemplate.sql.cgi>に記述されています。

詳細は設定ファイル </configs/SQLExport.cgi> をご参照ください。

サニタイジング処理はしていますが、セキュリティリスクがあることは念頭においてください。

vCard機能

入力された内容をもとにvCardファイルを作成し、それをメールに添付するための機能です。ご利用のメールソフトによっては自動的にアドレス帳に登録することが可能です。vcfファイルのテンプレートは

</configs/vCardTemplate.vcf.cgi> になります。

詳細は設定ファイル </configs/vCard.cgi> をご参照ください。

IPログトラッキング機能

Webサイト全体のアクセス情報をIPログとして保存し、そのIP情報を元に、どういう画面遷移で送信完了に至ったかをトラッキングするための機能です。

01.Webサイト全体に以下のタグを追加する

```
<script type="text/javascript" src="iplogs/iplogs.cgi"></script>
```

※パスは任意で変更してください。

※[</body>](#)の直前に記述してください。

02.IPログ設定ファイルを編集する

</configs/IPLogs.cgi> から <iplogs/iplogs.dat.cgi> の位置を設定します。

詳細は設定ファイル </configs/IPLogs.cgi> をご参照ください。

iCal連動

送信された日時情報を元にiCalやiPhoneなどのカレンダーで読み込むことのできるicsファイルを生成する機能です。

詳細は設定ファイル </configs/iCal.cgi> をご参照ください。

ショッピングカート機能

ショッピングカート機能はアドオン`cart/cart.js`とモジュール`cart`の両方を有効にする必要があります。

カートの中身を表示したい場所に以下のオブジェクトを配置してください。

```
<div id="mfp_shopping_cart"></div>
```

上記のタグが追加されていない場合、`cart.js`は自動的にオブジェクトを`<form>`タグの直前に挿入します。

見た目の編集は`/add-ons/cart/cart.js`と`/css/cart.css`で行います。

商品をカートに入れる

```
<form action="フォームHTMLのパス">
<input type="hidden" name="id" value="商品ID" />
<input type="hidden" name="name" value="商品名" />
<input type="hidden" name="price" value="商品単価" />
<input type="hidden" name="qty" value="数量" />
<input type="submit" value="カートに入れる" />
</form>
```

上記のようなタグで、商品をカートに入れることができます。後述の**セキュリティ設定**を有効にしている場合は、商品IDと数量のみを送信してください。



注意事項

メールで受け取った注文内容は**必ず価格チェック**などを行なってください。本プログラムは後述のセキュリティ設定などですりあわせ処理などを行っていますが、万全を期すために、**必ずチェック**してください。

ショッピングカート機能2 4.1.2

ショッピングカートにjavascript経由で商品を追加する方法です。

`<head>`内で

```
<script type="text/javascript" src="mfp.statics/cart.js"></script>
```

を呼び出します。

商品は

```
<form
class="mfpcart"
action="mailformpro/mailformpro.cgi?addon=cart/cart.js"
data-text="カートに進む &gt;"
data-href="《フォームのURL》"
onsubmit="return mfpCartAdd(this);">
<input type="hidden" name="id" value="商品ID" />
<input type="hidden" name="name" value="商品名" />
<input type="hidden" name="price" value="商品単価" />
<input type="hidden" name="qty" value="数量" />
<button type="submit" data-text="カートに入れました">
  <span>カートに追加</span>
</button>
</form>
```

上記のようなタグで、商品を画面遷移することなくカートに入れることができます。



jsonでカートの中身を参照・編集

ショッピングカート機能では他のページからカートの中身をjsonで取得することができます。取得する際のURIは以下のようになります。

`/mailformpro.cgi?addon=cart/cart.js&callback=コールバック関数`

上記の引数に `item=商品ID`、`qty=数量` を付け加えた場合は、カートへの商品追加を、`update=商品ID`、`qty=数量` を付け加えた場合はカート内の数量変更・削除を行い、カートの中身を返します。

jsonにより返される値は以下の通りです。

```
{
  'id': '商品ID',
  'qty': '数量',
  'price': '商品単価',
  'name': '商品名'
}
```



セキュリティ設定

フォームからの送信時に価格情報などが不正に変更された場合に、それを検知し防ぐ機能がItem Secure Matchです。商品IDと価格情報を記載したTSV形式(タブ区切りテキスト)のファイルと照合することで、価格が不正に変更された場合に、その商品情報を無効にします。

詳細は以下のファイルをご参照ください。

`/configs/cartcgi`

`/configs/items.tsv`

サンクスページへ情報の引き継ぎ 4.1.2

サンクスページで送信された情報を呼び出すことができます。呼び出すためにはJavascriptの知識がちょっと必要になります。

`mailformpro/mailformpro.cgi?module=thanks&callback=Callback`

上記のようにJavascriptからjsonを呼び出すことで、コールバック関数にjsonデータを受け渡します。詳細はthanks.jsのサンプル関数をご参照ください。

初期設定では送信後、30秒間のみ送信内容の呼び出しが可能です。また、送信ドメインによるホスト制限もかかっています。基本的にはセッション情報をもとに呼び出すため、外部に情報が漏れる可能性は極めて低いですが、サーバに情報を記録しているため、よほど理由が無い限りは利用しないほうが良いでしょう。

スパム対策について

ホスト制限

同一のホスト以外からの送信を制限するための機能です。config.cgi内の
`#$config{'PostDomain'} = $ENV{'HTTP_HOST'};`
の行頭#を削除して有効にしてください。

全文英語ブロック

送信された内容に日本語を一切含まない場合、送信をブロックする機能です。
フォームの対象が日本以外を含む場合は無効に設定してください。

スパムボットを除外

[link]や[url]といったスパム特有の文字列が含まれる送信をブロックします。

URL送信の不許可

多くのスパムボットはURLを送信する事を目的としているため、URL自体を送信できないように設定することで殆どの迷惑メールを排除することができます。
本機能はconfig.cgiから簡単に設定することができ、入力欄でURLが入力された場合は、エラーが表示されるようになります。

ステルスモード

ステルスモードは送信プログラムを明示的に指定しないことでスパムボットからの自動送信を防ぎます。ただし、Javascriptが正常に動作しないブラウザからの送信も阻害することになります。

ステルスモードとして利用する場合は

```
<form id="mailformpro" action="mailformpro/mailformpro.cgi" method="POST">
```

上記のformタグを

```
<form id="mailformpro">
```

このように変更してください。

Javascript挙動チェック

Javascriptが実行されていない場合の送信を拒否することができます。ただし、例えばフィーチャーフォンのようにJavascriptが動作しない環境からの送信も制限されることになるため、目的・用途に合わせて設定してください。**PayPal決済や価格計算機能はJavascriptが動作することが前提のため、その場合はこの機能を有効にすることを推奨します。**

その他

よくあるトラブル

! 500エラーが表示される

フォルダやCGIファイルのパーミッションをご確認ください。

また、config.cgiなど設定ファイルを編集後にエラーになる場合もあるので、ダウンロード状態に戻してみるのもオススメです。

! 404エラーが表示される

URLが間違っています。

! メールが届かない

sendmailのパスが正しいかご確認ください。

迷惑メールフォルダに入っていないかご確認ください。

設定されているメールアドレスが間違っていないかご確認ください。

Webサーバ側で送信に制限がかかっているかご確認ください。

 共有サーバなどで、GmailやGoogle Appsのメールアドレスが届かない場合は、ご利用の共有サーバのIPアドレスがブラックリストに登録されている可能性があります。その際はSMTP送信機能がGmailSMTP機能をご利用ください。

! 自動返信メールが届かない

迷惑メールフォルダに入っていないかご確認ください。

メールアドレス入力欄のnameがemailになっているかご確認ください。

入力したメールアドレスが間違っていないかご確認ください。

Webサーバ側で送信に制限がかかっているかご確認ください。

よくある質問

! 添付ファイル機能がほしい

有償(42,000円)になりますがカスタマイズは受け付けています。または、自動返信メール内に「添付ファイルがある場合は本メール宛に返信してください」と一文添えるだけでも多くの場合は事足ります。

! 著作権について

商用利用OKです。が、転売・再配布はご遠慮ください。
設置を代行するとかは全然OKです。

! サポートについて

サポートは以下のURLのFAQをご利用ください。

<http://www.synck.com/contents/faq/>

回答には時間がかかりますが、必ず回答します。

お急ぎの場合などは有償対応をご検討ください。

! 有償設置について

有償設置をご希望の場合は以下のURLからお申し込みください。

<http://www.synck.com/contents/homepage/actover/>

最短で即日、余裕をみても2〜3日で完了します。

! 免責事項

本プログラムを利用して発生した如何なる損害・問題においても責任を負い兼ねます。自己責任でご利用ください。

より高い効果を得るために

入力項目は必要最低限に。

フォームは**入力してほしい内容を入力させるためのもの**ではありません。**時間を割いて入力していただくためのもの**です。そのため、アレコレと設問を増やすことは決して良い結果を生みません。例えば、あなたが電気屋さんに行った時に店員にアレコレと余計なことまで聞かれたらイヤでしょう。そういうことです。「入力が面倒だなあ」と思わせたらダメです。誰もが文字入力を苦にしないわけではありませんから。

メール以外のお問い合わせ方法も併記しましょう。

キーボードから文字を入力するのが苦手な人は大勢います。時にはメールより電話で連絡したほうがお互いにとって都合の良い場合もあります。そのため、メール以外のお問い合わせ方法は必ず併記しましょう。

躊躇わせない。迷わせない。

入力をためらうような項目や、入力する意図・意味が理解しづらい項目は設置を避けるべきでしょう。閲覧者は繊細で、ふと疑問に思うことから送信を躊躇う場合があります。役割・意図・意味を明確にし、それを明示することで「ここに問い合わせても大丈夫かな？」という迷いを生まないように設計しましょう。

さらに高い効果を得るために

メールの返信には気持ちを込めて。

せっかくフォームからメールが届いても、返信がおざなりだと機会ロスになりかねません。送信した人は時間を割いて、頑張ってくれたのです。また、この世界に数多とあるWebサイトからあなたの送信フォームに奇跡的に辿り着いたと考えることもできます。そういった事を加味して、心をこめてメールを返信しましょう。

設置して終わりではありません。

フォームは設置して終わりではありません。本プログラムでは平均入力時間や確認時間、エラー発生箇所、ドロップ率、コンバージョンレートなどがわかるようになっています。これらの数値を日々改善するために弛まぬ努力が必要になります。

設置して終わりではありません。

設置がスタートラインだということを肝に銘じましょう。

お問い合わせが少ない場合

よほど安定したトラフィック(アクセス数)を稼いでいるサイトを除いて、お問い合わせは結構少ないものです。Webサイトの効果に過度な期待を持ってらっしゃる方は今も少なくないようですが。

多くの方が期待しているほどWebサイトは万能じゃありません。どれだけ素晴らしいWebサイトを作ってみても、ダメな商品・サービスはやっぱり売れません。素晴らしい商品やサービスがあって、それをより深く理解してもらうための媒体がWebサイトなんです。

これいいだろ!だから買え!じゃ誰も買いません。何が良いのか、なんでそれが必要なのか、ほかと比べてどうなのか。そういった掘り下げた視点で情報を閲覧者にしっかりと理解してもらうことが肝要です。Webサイトは押し売りをするための媒体ではありません。情報を理解してもらうための媒体です。

あと、需要が無いものはそもそも売れません。どれだけ本人が良いと思っていっても、それを求める人がいなければお問い合わせも発生しません。

自分が消費者であることを前提として考えましょう。自分ならお問い合わせをするだろうか。お問い合わせをしたくないのならなんでだろう。と、考えてみるとよりよいWebサイトやフォームを作成できると思います。

自己解決できない場合は気軽にご相談ください。
相談するだけならタダですから。

そもそもアクセス数が少ない場合

アクセス数が少ないWebサイトには特徴があります。
そもそもアクセスとはなんでしょうか。

「情報を調べている人」が「検索エンジンで検索」し「たどり着く」ことです。

アクセス数の少ない多くのサイトは自分が見せたい情報をただ公開しているだけである場合が少なくありません。Webサイトは情報を調べる人がいてはじめて成り立つ媒体です。その事を念頭に置かない限り、アクセス数は増えません。

自身のWebサイトを見てほしい人が
どういう事に困っているのか。

困った結果、どういう情報(回答)を求めているのか。

どういう言葉で検索するのか。

を、しっかりと掘り下げて考えることが大切です。見せたいことを見せるだけではなく、どういう情報をこそユーザが求めているかをしっかり考えて、その回答としてのWebサイトを制作することで、より多くのアクセス数を得る事ができるでしょう。

また、Webサイトは放置しているとすぐにダメになります。しかし、コツコツと手間暇をかけてじっくり育ててやることで必ず期待に応えてくれる優秀な子でもあります。

じっくりと考えて、労力を割いてあげればきっとあなたの期待を裏切ることはないでしょう。運営は大変ですが頑張ってください。

synck.comのフォームの統計情報

当サイト、synck.comに設置されている各フォームの統計情報をせっくなので公開してしまおうというこのコーナー。サイトの種別によって数値は大きく異なると思いますが、何かしらのタシにして頂けると幸いです。

	平均入力時間	平均確認時間	ドロップ率
お問い合わせフォーム	13:48	00:13	11.36%
ご注文フォーム	01:08	00:02	6.58%
お見積りフォーム	10:20	00:17	16.47%
CGI設置依頼フォーム	31:17	00:07	7.69%
サポートFAQ	12:53	00:06	0.48%
メルマガ登録	02:48	00:02	2.76%

(2014年4月10日現在の情報)

改めてこうやって見るとおもしろいですね。注文フォームは意外と入力時間が短い。まあ買うだけのフォームだから当たり前と言えば当たり前ですが。転じてCGI設置依頼や見積もりフォーム、そして質問を行うFAQなどのフォームは相応の時間が消費されていることがわかります。

不確定要素の高い見積もりフォームはドロップ率が高く、目的意識の強いであろう注文フォームや依頼フォームはドロップ率が低いというのもおもしろい。

フォームやメールの向こう側には人がいます

こうして情報をまとめて見返してみると、やっぱりフォームの向こう側、メールの向こう側には人がいるんだなあということを改めて実感しちゃいますね。入力時間は長い人で数時間単位の方もいらっしゃる。もちろんその全ての時間を入力に費やしているわけではないでしょうけれど。

フォームひとつひとつに役割や目的があって、そのフォームから送ってくる人ひとりひとりに様々な思考や思惑があるんですよ。プログラムを書いているとそういったものをどうしても数値として見がち。でも本当はそうじゃないんですよね。

フォームから送信するか否か。それは本当にちょっとした気配りだったり気遣いだったり、情熱だったりすると私は思います。入力画面の向こう側にはやっぱり人がいて、送信しようかどうか迷っているかもしれません。

そんなようなことを考えてフォームを設置していただけると嬉しいです。

あとかき

あとがき

このたびはダウンロードのみならず、マニュアルまで読んでいただき本当にありがとうございます。マニュアルでウンチク垂れるのが好きなものですから、読んでいただけるととても嬉しいです。

今回、メールフォーム4にアップデートするにあたって、過去にいただいた質問やわかりづらい点など、多岐に渡る問題点の多くを解決できたと自負しております。

私自身がメールフォームからお仕事をもらって生活をしているためメールフォームにはちょっとしたこだわりがありまして。インターネットやWebサイトといった顔が見えない媒体の人と人をつなぐ接点こそがメールフォームだと私は思っています。

送信するか、送信しないか。たったそれだけで繋がりが生まれたり、生まれなかったりするってとても不思議なことですね。私は質の高いメールフォームの公開によって、少しでも多くの良い繋がりがインターネット上に生まれたら。な～んて考えて作ってるわけではないですが。でも、設置する方はそういった点に留意して、心を砕いて設置してほしいと思っています。

当たり前にあるようなメールフォームですが、そこから生まれる出会いや繋がりはまさに一期一会です。星の数ほどあるWebサイトの中から、あなたのWebサイトに辿り着き、メールを送信してくるなんてちょっとした奇跡ですね。

と、ということで本プログラムが少しでも皆様の一助になりますように。

2013/02/09 和田憲幸

ダウンロード特典 開発者 和田憲幸(34)の特製ブロマイド



(キリノ線) ✂

お財布や定期入れにそっと忍ばせて、友達と差を付けよう!



Synchronization + Think

(合致させること) (考えること)

SYNCKGRAPHICA (シンクグラフィカ) は価値あるものをWeb上に発信するためのお手伝いをするために生まれました (法人ではありません)。

「なんのために (目的)」、「誰のために (対象)」、「どうやって (手段)」をじっくり考え、価値があり意味があるものを入念に創りあげることが目的としています。今の世の中は「売りたい」や「集客したい」に目が行ってしまいがちですが、ユーザーの求める情報を提供し、理解してもらうことこそがWebの本質だと私は確信しています。

ただ収益を得るためではなく、ただ集客をするためでもなく、真に良質なものを知ってもらうこと・理解してもらうことこそが、最終的には収益や集客に繋がる近道だと断言します。

そのような方針でWebサイトを作ったり、プログラムを開発したりしています。

業務内容

プログラム開発・Webアプリケーション開発

(Perl, Javascript, HTML5, Ajax, PHP)

Web設計

(Webデザイン、マークアップ、コーディング)

インターフェースデザイン

(Webアプリケーション、スマートフォン)

WEB DESIGN & CONSULTANT OFFICE SYNCKGRAPHICA

Web設計・プログラム開発のシンクグラフィカ

〒003-0801 札幌市白石区菊水一条四丁目一番三十九号

TEL:011-832-8698 FAX:011-832-8698

メールフォーム CGI

検索

